

事業番号	08 04 38	事業改善シート (26年度実施事業分)		<input type="checkbox"/> 当初要求	<input checked="" type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input type="checkbox"/> 点検
事業名	水産試験場試験研究費			担当課	部局	農政部	
総合5か年計画	プロジェクト				課・室	園芸畜産課	
	施策の総合的展開	1-3 夢に挑戦する農業 2 自信と誇りを持てる信州農畜産物の生産			E-mail	<a href="mailto:enchiku@pref.nagano.lg.jp">enchiku@pref.nagano.lg.jp</a>	
				実施期間	S56 ~		

1 事業の概要

目指す姿	長野県の水産業を持続的に発展させるために、河川湖沼漁業においては良好な水産環境の保全技術及び水産資源増殖技術の開発、養殖業においては魅力ある養殖品種の開発及び魚病対策技術開発を目指す。												
現状	<p>○県内河川湖沼漁場において、コイのヘルペスウイルス病やアユの冷水病等の魚病が発生し、また、ブラックバスなど外来魚による在来魚の生息環境の悪化がみられる。</p> <p>○養殖業において、信州サーモンに次ぐ新たな養殖品種の開発及び信州サーモンの品質向上が求められている。</p>												
県が関与する理由	県でなければ実施不可(法令等義務)	【左記の説明、根拠法令等】 持続的養殖生産確保法に基づく特定疾病の確定診断。地域課題解決に向けた試験研究開発は県で実施する必要がある。					県民との協働による実施：困難						
成果目標・事業内容	① 成果目標 (H26)												
	水産資源の増殖及び養殖業の生産性向上に関する新しい知見を得る。 ・新知見の取得 7件(7つの試験研究項目)												
	② 事業内容 (単位:千円)												
		項目	実施方法	H26実施内容		H25 (当初)	H26 (要求) (予算案)						
		増養殖技術の改良・確立	直接	・アユの疾病対策 ・河川漁場の増殖管理手法開発 ・コイヘルペスウイルス病対策研究		4,497	3,297	3,297					
	市場性の高い品種の開発	直接	・マス類の品種改良 ・マス類の高品質生産技術開発		2,291	2,647	2,647						
	水産環境の保全	直接	・外来魚駆除技術開発 ・温暖化適応技術開発		2,218	1,928	1,928						
	合計				9,006	7,872	7,872						
事業コスト	区分(単位:千円)		23年度	24年度	25年度	26要求	26予算案	成果目標の達成状況					
	予算額	前年度繰越						項目	H25末 (見込)	H26 目標 成果 達成状況	H27 目標		
		当初予算	12,094	10,443	9,006	7,872	7,872	新知見の 取得	7件	7件			
		補正予算											
		合計(A)	12,094	10,443	9,006	7,872	7,872						
	国庫支出金	1,060	1,057	1,057	938	938							
	Aの財源	県債											
		その他(財産収入、諸収入)	8,491	7,131	5,714	4,674	4,674						
		一般財源	2,543	2,255	2,235	2,260	2,260						
	決算額(B)	81,001	10,443										
概算人件費	職員数(人)	8.50	8.50	8.50	8.50	8.50							
	概算人件費(C)	70,193	70,193	70,193	70,193	70,193							
概算事業費(B(A)+C)		151,194	80,636	79,199	78,065	78,065							
(注)23年度決算額(B)は水産試験場費総額													
指摘事項等への対応 <input type="checkbox"/> 監査 <input type="checkbox"/> 決算特別委員会 <input type="checkbox"/> 県民協働による事業改善			(指摘事項等)			(対応)							
要求からの主な変更点		要求どおり											